

動時
いが
て逆
さ
いさ
く。
に

店内のざわめきをよそに
一人静かにグラスを傾ける。

隣に座った若い年寄りたちは
裸電球だった時代を懐かしみ、
白黒テレビ、赤電話、501、
そして反戦歌の話で盛り上がる。

小さなグラスを片手に、
過ぎ去った時を惜しむかのように、
一口、また一口とグラスを傾ける。

巻き戻されていく。時が逆さに動いていく。
見知らぬ時の見知らぬ人に、
なぜか出逢えそうな、そんな気がする。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()*+,-.